



進路だより

大阪市立東三国中学校

2016年2月9日

高校入試始まる！

3年生の人たちは、いよいよ明日私立の入試です。これまでの受験勉強の努力が発揮できるように頑張ってください。皆さんの健闘を期待しています。

★答案作成のテクニック★

☆できる問題からやろう！！☆

できる問題をやり残さないことが重要です。問題を斜め読みしたあと、得意な問題からやってみましょう。また、すぐにできてしまう問題（例：漢字の読み取りや、英単語のアクセント問題など）も先にやっておくと、時間切れになっても安心です。

☆長文問題は問いを先に読もう！！☆

国語や英語の長文問題、社会の資料から考える問題などは、問いを先に読んでおいて、何を問われているかを理解してから長文や資料を読んだほうが、能率的に答案作成ができます。

☆受験番号・名前を一番に書こう！！☆

よく、試験が終わってから、「受験番号と名前を書き忘れたかな？」と心配になるものです。受験番号の書き忘れで高校の先生に指摘され、気持ちを切り替えられず、動揺したままテストを受けたり、帰宅してから書き忘れの電話を受験校にかけたりなどしないでもいいように、答案用紙をもらい「始め」の合図が出されたら、まずは、受験番号と名前を記入しましょう。

☆ケアレスミスに注意しよう！！☆

よく、記号で答える問題を語句で答えたために全問×になっているのを、定期テストでもよくみかけます。問題用紙を読む時に、どのように答えを書くのかを自分で丸を付けたり、下線を引くなど、チェックしながらしっかり読みましょう。

定期テストでも
同様ですので、
1・2年生の皆さんも
参考にしよう！

また、字があいまいなために×になることも多いものです。例えば、カタカナの「ア」と「アイ」は曖昧に書くと、どちらとも読める字になります。そんな時は「疑わしきは罰する」の原則に従って、×になるのです。

わかっているのに×になるという失敗をなくすために、時間ギリギリまでミスがないか、見直しをしましょう。

☆自分が難しい問題は、他の受験生も難しい！！☆

難しい問題が出題されて気持ちが焦ったために、結局自分の実力を出し切れないで終わってしまうことがあります。できない問題があっても、焦るのは禁物です。これまでの受験勉強の努力を信じて、『この問題は、100点を取らせないための問題だ。他の受験生もできない。』と考えて下さい。試験会場では他の受験生は本当に賢そうに見えるものです。

★受験上の注意★

入試は新しい集団をつくる場です。なので、その集団の規律や秩序を乱す恐れがあると判断される者は落とすのが入試の本質です。厳しい言い方をすると、入試は「入るためにあるのではなく、落とすためにある」のです。だから、次の格言を大切にしたいと思います。

『李下に冠を正さず』

この故事成語は、「すもも（李）のなっている木の下を通るとき、冠（帽子などのかぶり物）をかぶり直そうとして手を上げると、実を盗んでいるのではないかと誤解を招く恐れがあることから、そこでは直すべきではない。」ということから、「人に疑われるような行為は避けるべきである」というたとえ。」で使われます。この場合、盗んでいると疑った人よりも、疑われているようなしぐさをした人の方が悪いと言っています。受験するときに、肝に命じて欲しい格言です。

短い言葉で、人生の真理や処世術などを述べ、教訓や戒めとした言葉。

『疑わしきは罰する』

この格言は本当は「疑わしきは罰せず」なのですが、入試という場では反対になってしまいます。入試は規律や秩序を守ることができない、疑わしい者を合格させるわけにはいきません。当然、合否を決める側の心理では、疑わしい者は不合格にせざるを得ないのです。

『試験中に寝るな！』

また、テストの時間が余ったとしても、絶対に寝ないこと！！寝ることによって、試験監督の先生は、この生徒は最後まで頑張らないと決めてかかりますよ。最後までしっかり問題に挑戦し、頑張って解いていってください。